

令和2（2020）年3月

軽自動車新車販売速報

令和2（2020）年4月1日
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：堀井仁，略称：全軽自協）の調べによる令和2（2020）年3月の軽自動車新車販売台数（新車新規検査台数，トレーラー等を除くナンバーベース）は，全体で206,483台，前年同月比7.6%減となり，6ヵ月連続のマイナスとなりました。

車種別では，乗用車が163,342台で前年同月比6.8%減（6ヵ月連続減），貨物車が43,141台で同10.5%減（6ヵ月連続減）。貨物車の内訳は，ボンネットバンが4,386台で前年同月比34.3%減（7ヵ月連続減），キャブオーバーバンが19,440台で同10.0%減（6ヵ月連続減），トラックが19,315台で同3.0%減（6ヵ月連続減）となっています。

この結果，令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）の新車販売台数は1,855,967台，前年度比3.5%減となり，3年ぶりのマイナスとなりました。

年度販売台数の内訳は，乗用車が1,439,482台，前年度比3.1%減（3年ぶり減），貨物車は416,485台で同4.7%減（3年ぶり減）。貨物車の内訳は，ボンネットバン45,099台で同8.3%減（2年ぶり減），キャブオーバーバン191,776台で5.2%減（2年連続減），トラック179,610台で同3.3%減（3年ぶり減）となっています。